

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2  
男女共同参画の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境生活総務課 男女共同参画室長 原 圭子 電話番号 0852-22-5243

事務事業の名称	女性の参画促進・人材育成事業	
目的	(1) 対象	県内の女性、企業・団体
	(2) 意図	社会のあらゆる分野における活動への女性の参画を促進する。
事業概要	・職場における女性リーダー育成のためのセミナーの開催や、女性が働き続けやすい環境整備を推進する企業・団体への支援を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	しまね女性の活躍応援企業登録企業数（4年間の累計）	目標値	30.0	60.0	90.0	120.0	企業
	式・定義	しまね女性の活躍応援企業に登録した新規の企業数	取組目標値		75.0	120.0	165.0	
			実績値	43.0	103.0			
			達成率	—	143.4	137.4		%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	—	—	—	—	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	48,260	53,471
うち一般財源 (千円)	45,067	32,935

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・平成28年4月の女性活躍推進法全面施行以降、女性がそれぞれの希望に応じた働き方を実現できるよう社会全体として取り組んでいくことが求められている。
- ・15～64歳の女性の労働力率 島根県 74.6% 全国 67.3%（平成27年国勢調査）
- ・管理的職業従事者に占める女性の割合 島根県 15.6% 全国 16.4%（平成27年国勢調査）
- ・女性が働き続けていくことを「働き続けにくい」「どちらかといえば働き続けにくい」と回答した割合 70.3%（平成26年度「男女共同参画 県民の意識・実態調査」）
- ・育児家庭の夫の家事・育児時間（島根県53分、全国64分）（平成28年社会生活基本調査）

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・女性が個性や能力を十分に発揮し、誰もが働き続けやすい職場環境を整備し、女性の活躍を進めていくために、平成28年度に「しまね働く女性きらめき応援会議」を立ち上げ、職場における女性活躍の取組みを官民一体となって推進している。
- ・応援企業登録数は目標に達しており、女性活躍の推進に取り組む県内企業は増えつつある。
- ・応援会議において、目標の設定とロードマップの策定を行い、各構成団体において、傘下企業へ女性活躍への取組みの働きかけ強化につながった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・職場において、管理的立場の女性が少なく、また、女性が働き続けにくいと考えられている状況がある。
- ・女性活躍推進に取り組んでいる企業は増えつつあるが、県内企業数（平成28年経済センサス約25,000社）からするとまだ一部にとどまっている。
- ・育児家庭の夫の家事・育児時間が、前回調査から31分減少しており、全国平均よりも短い。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・県内企業において、女性が働き続けていける職場環境が十分に整っていない。
- ・仕事と生活の両立が不安、自分の能力に自信が持てないなどの理由から、女性は男性に比べ管理職への昇進に消極的と考えられる。
- ・女性活躍の推進に取組むことにより、人材の定着や生産性の向上につながる事が県内企業に十分に知られていない。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・企業や団体において、女性が働き続けやすい職場環境の整備を推進する取組みが必要である。
- ・女性の能力を引き出し、職場において活かしていくため、引き続きキャリア形成の支援やロールモデルの普及などに努める必要がある。
- ・男女ともにワーク・ライフ・バランスを推進することで、男性の家事参画促進など、女性が活躍できる環境づくりを進める必要がある。
- ・企業が女性活躍に取り組むことによる成果の発信を強化する必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・全体的に女性活躍を推進していくために、引き続き「しまね働く女性きらめき応援会議」ワーキングチームと連携し事業を進めていく。
- ・職場で女性が十分に能力を発揮できるよう、職場における意識改革、女性リーダーの育成等に努めるとともに、誰もが働き続けやすい職場環境の整備に向けて取り組んでいく。
- ・女性活躍に取り組む企業を増やすために、応援企業等における女性活躍の取組事例や取組みの成果など、情報発信を強化していく。
- ・管理的立場の女性の増加、仕事と生活の両立の負担の軽減のため、女性のキャリア形成支援や男性の家事参画促進等に取り組んでいく。